

## 2. 環境影響評価実施内容の概要

### (1) 環境影響評価項目

本事業の実施により影響を受けると考えられ、環境影響評価のなかで予測・評価を行う必要があると考えられる項目として、万博会場予定地は、大気質、水質・底質、騒音、振動、低周波音、悪臭、廃棄物・残土、地球環境、動物、植物、生態系、景観、自然とのふれあい活動の場の13項目、(仮称)舞洲駐車場候補地は、大気質、騒音、振動、廃棄物・残土、動物、植物、生態系、自然とのふれあい活動の場の8項目を選定した。

環境影響評価項目と環境影響評価要因の関係

環境影響評価項目	環境影響要因										
	会場予定地						(仮称)舞洲駐車場候補地				
	施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事中			施設の存在	施設の利用		建設・解体 工事中	
		建築物の存在	施設の供用	施設関連車両の走行	建設機械の稼働	工事関連車両の走行		土地の改変・解体	建築物の存在	(施設関連車両の走行) 施設の供用	建設機械の稼働
大気質		○	○	○	○			○	○	○	
水質・底質		○				○					
騒音		○	○	○	○			○	○	○	
振動		○	○	○	○			○	○	○	
低周波音		○									
悪臭		○									
廃棄物・残土		○				○					○
地球環境		○									
動物		○		○		○			○		○
植物		○				○					○
生態系		○		○		○			○		○
景観	○										
自然とのふれあい活動の場			○		○			○		○	○

注:「○」は環境影響評価項目に選定した項目を、無印は影響を及ぼすおそれがない、またはほとんどないと考えられる項目を示す。

## (2) 環境影響評価の実施を予定している区域

環境影響評価の実施を予定している区域は、環境影響評価項目毎に環境影響が及ぶと想定される範囲を考慮し、大阪市此花区、住之江区、港区を予定している。

## (3) 現況調査の概要

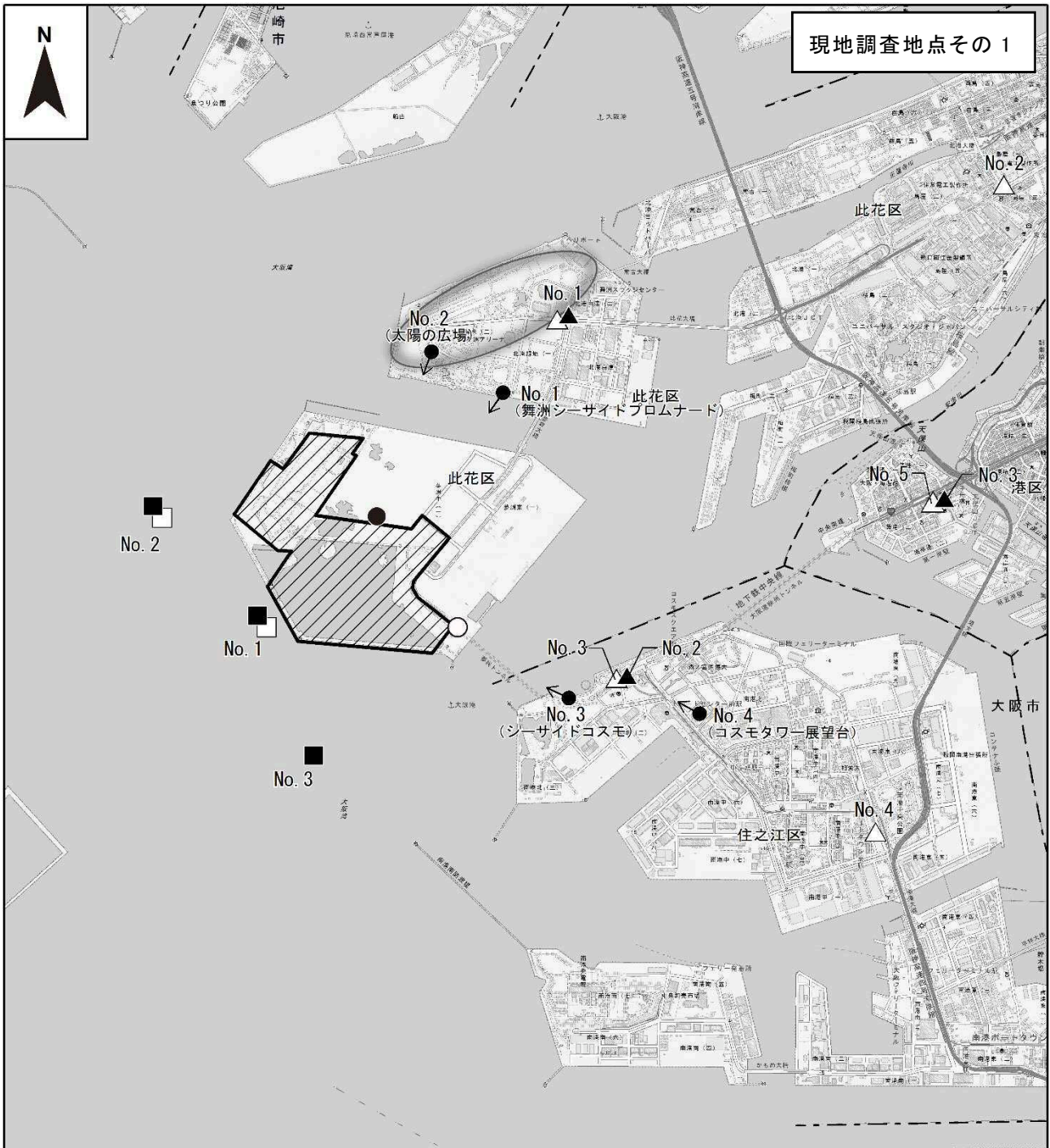
調査は、既存資料の収集整理と、以下に示す現地調査を行う。なお、今後の事業計画の検討の進捗を踏まえて、環境影響の把握を適切に行うため調査地点を見直す可能性がある。

### 現地調査の内容(その1)

調査項目		調査方法	調査時期及び頻度	調査地点及び範囲	
大気質	二酸化硫黄	「大気汚染に係る環境基準について」に定める方法	4回/年(四季) 各季7日間連続	一般環境:1地点	
	二酸化窒素	「二酸化窒素に係る環境基準について」に定める方法		一般環境:1地点 沿道環境:3地点	
	浮遊粒子状物質	「大気汚染に係る環境基準について」に定める方法			
	風向・風速	「地上気象観測指針」に定める方法	通年調査	一般環境:1地点	
水質	現地測定項目	気温、水温、色相、水深、臭気、透明度を現場にて観察	12回/年 (毎月)	3地点 (海面下1m、海底面上2m)  注)底層溶存酸素は下層のみとし、海底面上1m以内とする。	
	生活環境項目	「水質汚濁に係る環境基準」等に定める方法			2回/年 (夏、冬)
	水生生物生息環境項目				
	その他				
	健康項目				
	ダイオキシン類	「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質汚染を含む。)及び土壌汚染に係る環境基準」に定める方法	1回/年 (夏)	1地点 (海面下1m)	
流向・流速	流向・流速計による測定	1回/年(夏) 15日昼夜連続観測	2地点 (海面下1m、海底面上2m)		
底質	現地測定項目	泥温、色相、臭気、性状を現場にて観察	2回/年 (夏、冬)	3地点 (海底表層)	
	一般項目	「底質調査方法」等に定める方法			1回/年 (夏)
	水底土砂項目				
	ダイオキシン類	「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質汚染を含む。)及び土壌汚染に係る環境基準」に定める方法		1地点 (海底表層)	
騒音	環境騒音	「騒音に係る環境基準について」に定める測定方法	2回/年 (平日、休日) 24時間/回	1地点	
	道路交通騒音			5地点	
	交通量	交通量を目視により計数 4車種			

現地調査の内容(その2)

調査項目		調査方法	調査時期及び頻度	調査地点及び範囲	
振動	環境振動	「振動規制法施行規則」に定める測定方法	2回/年 (平日、休日) 24時間/回	1地点	
	道路交通振動			5地点	
	地盤卓越振動数	大型車走行時の1/3オクターブバンド周波数分析器を用いて計測	単独走行車 10台/点		
低周波音	1/3オクターブバンド周波数別音圧レベル及びG特性音圧レベルのパワー平均値	「低周波音の測定方法に関するマニュアル」に定める方法	2回/年 (平日、休日) 24時間/回	1地点	
悪臭	臭気指数	「臭気指数及び臭気排出強度の算定の方法」に定める方法	2回/年(夏)	1地点	
動物	陸域動物	哺乳類	任意調査(フィールドサイン)、トラップ調査	4回/年 (四季)	夢洲、舞洲
		鳥類	任意調査、ルートセンサス、定点調査	5回/年 (春、繁殖期、夏、秋、冬)	夢洲、舞洲
		両生・は虫類	任意調査	3回/年 (春、夏、秋)	夢洲、舞洲
		昆虫類	任意調査、ライトトラップ、ベイトトラップ	3回/年 (春、夏、秋)	夢洲、舞洲
		底生生物	任意調査、サーバーネット等による定性採集、コドラート法による定量採集	4回/年 (四季)	夢洲
	海域動物	動物プランクトン	プランクトン(北原式)定量ネットを用いて鉛直曳	4回/年 (四季)	海域3地点 (海底面上1mから海面まで)
		魚卵・稚仔魚	稚魚ネットを用いて水平曳		海域3地点 (海面表層)
		底生生物	グラブ式採泥器を用い、2回採泥し、1mmのふるいに残ったマクロベントスを対象		海域3地点 (海底表層)
		漁業生物	刺網又は水中カメラによる調査	4回/年 (四季)	海域1地点
		付着生物(動物)	枠取り法・採集現場スケッチ(写真)の状況	4回/年 (四季)	夢洲護岸1地点 (平均水面、大潮最低低潮面、大潮最低低潮面-1m)
植物	陸域植物	植物相(水生生物含む)	任意調査	3回/年 (春、夏、秋)	夢洲、舞洲
		植生	コドラート調査、植生図	2回/年 (夏、秋)	夢洲、舞洲
	海域植物	植物プランクトン	バンドーン型採水器を用いて採水し、試料とする。	4回/年 (四季)	海域3地点 (海面下1m、海底面上2m)
		付着生物(植物)	枠取り法・採集現場スケッチ(写真)の状況	4回/年 (四季)	夢洲護岸1地点 (平均水面、大潮最低低潮面、大潮最低低潮面-1m)
景観	眺望の状況	眺望地点からの写真撮影による	1回/年 (夏～秋)	4地点	



凡例



会場予定地



(仮称) 舞洲駐車場候補地



市区界



一般環境大気質、環境騒音・振動、低周波音



沿道環境大気質 (No. 1~No. 3)



道路交通騒音・振動、交通量 (No. 1~No. 5)



水質・底質 (No. 1~No. 3)



流向・流速 (No. 1~No. 2)



悪臭



景観 (No. 1~No. 4)

1:50,000

